



# 標茶高校 広報ゼミ

## ～ふるさと納税を知るの巻～

令和2年8月1日

### 標茶町役場企画財政課 久保田さんからお話を伺いました！



#### 今回の目的

私たちは、標茶町の抱える課題の1つに「ふるさと納税の取り組みがあまり知られていないこと」があると考えました。実際、標茶高校生への調査でも8割以上の生徒が「知らない」と回答しています。そこで、もっと多くの人に知ってもらうため、PR活動に協力したいと考えました！

そのためには、まず、私たちが標茶町のふるさと納税について深く知ることが必要であると思い、標茶町役場の担当者の方を取材しました。

#### 「ふるさと納税って何？」

2008年に始まった制度で、自分が応援したい都道府県や市町村へ「寄附」できる仕組みのことです。

その寄附金額の一部が所得税及び住民税から控除されることや寄付した先からお礼の品がもらえることから話題となっています。日本では1,788団体が取り組んでいます。



### 標茶の魅力、再発見！ 高校生の視点から覗くふるさと納税

まず、標茶町のふるさと納税の取り組みについて尋ねると、「都市圏の乗馬クラブ等で活躍している馬たちが、引退後に標茶町の自然の中で余生を過ごせる環境を整備するため、平成30年9月にクラウドファンディング型のふるさと納税をはじめました。」とのこと。話を伺うまで標茶町が馬を使用して町おこしをしているということは知らなかったため、新しい発見でした。

寄付の現状については、「令和2年3月31日時点で約1,200件、2,600万円もの申し込みがあります。」とおっしゃっており、私たちが事前に調べた申し込み数、金額よりも多く、驚きました。

また、寄付額が北海道の他の市町村に比べて低い点については、「ふるさと納税に対する返礼品の提供を始めたばかりということもありますが、標茶町の知名度が低いことが主な原因かと思います。今後は返礼品を含め、標茶町をもっと多くの方に知ってもらうようPRしたい。」とおっしゃっており、私たちの活動目的と役場の方向性が一致していることがわかりました。今後も役場の方々に協力していただきながら、活動を進めていきたいと思っています！

#### ～取材を終えて～

今回取材をさせていただいたことで、標茶町のふるさと納税の現状や今後の展望について知ることができました。また、今後私たちにできることが具体的に見えてきて、充実した時間を過ごすことができました。

久保田さんを始め、ご協力いただいた標茶町役場の皆様、ありがとうございました！

広報ゼミは「標茶町の新しい魅力を発見し、発信すること」を目的に活動しています。今後も標茶の魅力について、高校生の視点で記事を書き、校内や標茶町の公共施設に掲示したり、広報しべちゃに折り込んだり、SNSで発信したりしていきますので、ぜひご覧ください！



twitter



SHIBE.KOUHOU

tag m